

学校評価（職員版）

項目	番号	具体的な評価内容	評価結果				割合			
			そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない
世界に通じ社会を生きぬく力	①	○児童が、学ぶことを通して、自己や他者の良さ、人として生きる良さに気づき、進んで社会と関わる意欲や態度を育むことができたか。	10%	90%	0%	0%				
	②	○児童が、自分の考えや自由記述を明るく、表情豊かに伝え、理解しあえる喜びを体験し、異文化と共生する態度を養うことができたか。（英語教育）	22%	50%	28%	0%				
	③	○教科等を有機的に連携させ、自ら学び、学び合い、協働して解決する教育課程の工夫に努めることができたか。	11%	89%	0%	0%				
自由記述			<ul style="list-style-type: none"> 生活科での体験を通して、学ぶことができていた。 英語も限られた回数ではあったが、楽しみながら活動することができた。 外国語教育では、ALTとの打ち合わせの時間を十分に確保できず、申し訳ない。先生方に迷惑をかけている。（教務） 							
確かな学力と自立する力	①	○児童が、素直な心で、自分の考えや疑問を何でも伝えられる生き生きとした学習を創造することができたか。	25%	65%	10%	0%				
	②	○児童が、他の自由記述や感想に耳を傾け、多様な考えを大切にされた対話的な深い学習を創造することができたか。	6%	78%	17%	0%				
	③	○ペア学習、グループ学習を有効的に取り入れ、伝え・聞くなど言語活動を充実させることができたか。	17%	50%	33%	0%				
	④	○子どもの日常生活や好奇心に関わり、興味関心をかき立て、学校から家庭に発展する学習の工夫に努めることができたか。（教材の工夫と家庭学習の充実）	32%	47%	21%	0%				
	⑤	○授業を広く公開し、職員の学び合いを活発に、互いに指導力を高め合うことができたか。	16%	37%	42%	5%				
自由記述			<ul style="list-style-type: none"> 各ブロックで同僚性や協働性を発揮し、活発に意見交換を行うことができた。 校内研以外で他の先生方の授業を見る機会はほぼないが、できれば授業を通して学んでいきたいと思っている。 校内研等を通して、先生方からご指導いただけたことをありがたく思う。聞く姿勢がまだまだ育たず、ペア学習やグループ学習になかなか取り組むことができなかったため、2学期から頑張りたい。 昨年度、家庭学習定着週間の取り組みを行ったが、今年度はどうするか？昨年度はある程度子どもたちの意欲付けにはつながったが、教師側の負担感も増した。どんな工夫が考えられるか？ 							
豊かな心と自己実現を図る力	①	○すべての児童に居場所のある学年・学級等それぞれの立場で学校づくりに努めることができたか。	29%	71%	0%	0%				
	②	○基本的人権と個人の尊厳を尊重し、いじめや不登校に取り組むことができたか。	43%	57%	0%	0%				
	③	○相手の立場に立って考える体験を重ね、自分がされて嫌なことを、言ったりしったりしない子どもを育てることができたか。	14%	76%	10%	0%				

学校評価（職員版）

項目	番号	具体的な評価内容	回答割合				回答割合の視覚化			
			そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない
	④	○上学年の子どもの活動から、下学年の子どもが自ずと学べる縦割り活動の指導助言ができたか。	24%	71%	5%	0%				
	⑤	○読書の苦手な子どもも、本を読む時間を確保し、すべての子に読書習慣を育むことができたか。	35%	50%	15%	0%				
	⑥	○豊かな読書・文化芸術体験を通し、辛いとき苦しいときにも強く生きる心を育むことができたか。	10%	65%	25%	0%				
	⑦	○さわやかで好感を与える所作や行動を身につけ、誰にでも挨拶のできる習慣を育むことができたか。 (小笠原流礼法)	11%	72%	17%	0%				
自由記述			<ul style="list-style-type: none"> ・2学期も、居心地の良い学級をめざしていきたい。 ・学校が楽しいと思うことができるように努めてきたが、まだまだ指導の至らないところがたくさんあるので、2学期も引き続き取り組んでいく。 ・そうじの取り組みは、上の学年子が見本を見せる取り組みとしてよいと思う。 							
健康で健やかな生活を営む力	①	○運動の苦手な子どもも、自己の進歩、達成感を味わわせ、運動習慣を育むことができたか。	16%	79%	5%	0%				
	②	○日常的な運動・食事・睡眠と健康について理解を深め、健康な生活習慣を育むことができたか。	15%	80%	5%	0%				
自由記述										
一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の推進	①	○個の実態を的確に把握し、個別のニーズに応じた指導に努めることができたか。	21%	79%	0%	0%				
	②	○コーディネーターを中心に、情報共有をし、関係機関との連携を図りながら、校内支援体制の効果的な運用に努めることができたか。	42%	47%	11%	0%				
	③	○保護者相談を丁寧に行い、連携した指導に努めることができたか。	37%	63%	0%	0%				
	④	○一人ひとりの人権と個人差を尊重し、子ども同士が共に学びあう学習指導・学級づくり等に努めることができたか。	22%	78%	0%	0%				
自由記述			<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任だけでなく、特別支援コーディネーターが中心となってケース会議を企画し、情報共有と対処についての意見交換ができた。 ・個の対応が必要な児童が多いため、小川先生や小山先生に相談させてもらいながら、指導・支援してきた。2学期も続けていきたい。 ・課題の見られる児童には、学校の全教師が関わっていくこと（声をかけていくこと）が必要だと思う。 							

学校評価（職員版）

項目	番号	具体的な評価内容	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない
安全に安心して学べる教育環境づくりの推進	①	○保護者、地域の力を活用し、共に支えあう地域の学校づくりに努めることができたか。（適切な情報発信等を通し、保護者・地域・外部団体と共通理解を図ることに努めたか）	26%	58%	16%	0%
	②	○PTA活動や地域の様々な行事に職員も参画し、協力関係を築くように努めることができたか。	26%	68%	5%	0%
		自由記述				

